

②古代のすだれ

簾の名の由来は、「簾垂れ（すだれ）」から発生した説と、住む所の「巢」の出入口に垂れ下げて、雨風邪気を避けたことから発生した説の二つが有力です。

※巢を垂れる・・・すだれ？

神聖なる植物・・・竹

簾に使用される竹は、日本列島に住む私達の祖先にとって神聖な植物でした。

『古事記』には、イザナギが黄泉の国で、イザナミの遣わした邪鬼に追われたときに、髪にさしたく湯津々間櫛（ゆつつまぐし）を地面に投げると、たちまち筍が生えました。邪鬼が筍を食べている間に、イザナギは葦原中国（あしはらのなかつくに）へと逃げ帰ることができたとの記述があります。竹の呪力によって救われたのです。

- ・ 真っすぐに伸びる成長力。
- ・ 常に青々した生命力。
- ・ かぐや姫伝説にみられる母体イメージ。

竹は、古代より神聖な植物の象徴として、考えられてきたと思われます。

隼人、竹細工・・・簾

古くより、南九州から畿内に移住してきた<隼人（はやと）>と呼ばれる人々がいました。

<隼人>は、宮中で守護にあたるほかに、朝廷で用いる竹細工の生産を命じられました。竹細工の中には、簾も存在したと思われます。

こうして宮中などで使用される簾には、神聖な室内装飾として登場したと推測されます。

